

雲南広域連合広報誌

うんなん

Unnan Wide Area Union

飯南町

雲南市

奥出雲町

#おうちでうんなんフォトコンテスト2021

なっちゃん さん

撮影場所 雲南市 妻伊川堤防桜並木

「満開の桜と木次大橋の夜景がとてもきれいでした。」

2022
春号
vol.57

2022年3月15日発行



議会報告

令和3年
12月
定例会

令和3年12月24日、令和3年12月雲南広域連合議会定例会を開催しました。
この議会には次の議案を提出し、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

議 決 さ れ た 事 項

●職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認を求めることについて

令和3年人事院勧告等及び構成市町の対応に基づき、期末手当の支給率を下げるため所要の改正をしました。

●雲南広域連合個人情報保護条例の一部を改正する条例について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律及びデジタル庁設置法の制定に伴う、条項の整理等の所要の改正をしました。

●令和3年度雲南広域連合一般会計補正予算(第2号)

既定額から歳入歳出 8,005 千円を減額し、総額を 1,414,063 千円としました。

【主な内容】

- ・人件費 Δ 9,625 千円
- ・消防総務管理費(修繕費) 2,000 千円

●令和3年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

既定額から歳入歳出 456 千円を減額し、総額を 8,302,527 千円としました。

【内容】・人件費 Δ 456 千円

●令和3年度雲南広域連合下水道事業会計補正予算(第1号)

①収益的支出の補正

・営業費用(人件費) Δ 54 千円

②流用することができない経費補正

・職員給与費 Δ 54 千円

採決結果

議案の賛否状況です。なお、佐藤隆司議長は裁決に加わりませんでした。

「○」…賛成 「●」…反対 「-」…欠席

議案名	採決結果	多賀 法華	児玉 幸久	松林 孝之	上代 和美	矢壁 正弘	内田 裕紀	中林 孝	高橋 英次	景山 登美男	藤原 充博	早樋 徹雄	景山 利則	内田 精彦
職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認を求めることについて	承認	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南広域連合個人情報保護条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度雲南広域連合一般会計補正予算(第2号)	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度雲南広域連合下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年

2月

定例会

雲南広域連合

議会報告



雲南広域連合長 所信表明

令 和4年2月雲南広域連合議会定例会の開会にあたり、令和4年度の取り組みにおける私の基本的な考え方を申し上げ、議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

ま ず、広域観光事業についてでありませう。新型コロナウイルス感染症の影響で、例年1月に広島市で開催されている「島根ふるさとフェア」が、昨年に続き中止となり、テレビ特番「テレビで島根ふるさとフェア」の放映に変更となったほか、雲南地域内で計画していた観光事業も変更や中止せざるを得ないものが出ています。そうした状況の中、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えつつ、また、観光客のニーズ変化も把握しながら、再開期に向けた受け入れ体制の整備や魅力向上を中心に行う考えです。インバウンド客向けには、英語で案内ができる地域ガイド養成などの受け入れ体制づくりを、国内客向けには、ケーブルテレビ用の観光PR番組の制作や、美肌、たたら、食、伝統工芸などのテーマを絞った少人数向けの旅行商品づくりを進めてまいります。取り組

みに当たっては、うんなん観光ネットワーク協議会を中心として、島根県、山陰インバウンド機構、木次線利活用推進協議会などの関係機関や隣接する圏域との連携を深め、取り組みが広がりをもち継続するよう努めます。

ま た、広域的な地域づくりについては、共通課題についての研修会やまちづくり活動を行う団体への助成など、広域連携を図る取り組みを進めてまいります。

次 に、介護保険事業についてであります。第8期介護保険事業計画の初年度である令和3年度の介護サービスの給付状況は概ね計画どおりの推移となっておりますが、介護予防サービスにおいて、コロナ禍における利用控えと思われる計画値を下回る実績となっていることから、一層徹底した感染予防策を講じ、利用者の皆様が安心してサービスを利用いただけるよう努めるとともに、市町と連携し、居宅でできる介護予防運動の普及をさらに図ってまいります。

令 和4年度は次期介護保険事業計画（第9期）の基礎調査年度であり、在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等を実施します。家族の介護状況や高齢者の心身の状況等を把握し、これらを次期計画の策定に活かしてまいります。

ま た、昨年12月20日に成立した令和3年度国の補正予算（第1号）において、介護職員の処遇改善を目的に収入を3%（月額9,000円）程度引き上げるための措置が講じられ、令和4年2月から前倒しで実施されることになりました。

さ らに、10月以降は介護報酬の臨時改定により同様の措置が継続されることとなっておりますが、これに伴い増加する介護給付費のうち第1号保険料で負担する部分については、必要に応じ介護給付費準備基金により対応することとしており、保険料の見直しは行わない考えです。

雲 南広域連合としては、介護人材の確保・定着を推進する観点からも各事業所において、この補助金等が活用され、介護職員の処遇改善がさらに図られるよう推進してまいります。

雲南広域連合長所信表明

次に、消防についてであります。令和3年中の災害出動状況は、火災が23件で対前年7件の減少、救急は2,272件で対前年104件の増加となりました。

医療機関に搬送した傷病者は2,202人で、対前年134人の増加、うち65歳以上の高齢者は1,665人であり、76%を占めました。ドクターヘリの搬送人員は124人で、対前年7人の増加、救助出動は80件で、対前年6件の増加となりました。

一方、新型コロナウイルス感染症の医療従事者に対する3回目のワクチン接種について、予定していた消防職員は、2月17日に全員が接種を完了いたしました。鳥根県では、まん延防止等重点措置の適用に伴う対応が20日をもって解除となる見込みですが、オミクロン株の感染拡大について、なお危惧する状況にありますので、引き続き感染防止対策を徹底し、業務にあたってまいります。

令和4年度消防関係の主な事業として、雲南消防署に配備されている救助工作車について、平成14年度に整備してから20年が経過することから、車両更新計画に沿って更新してまいります。また、本

年度基本設計を進めております消防庁舎大規模改修事業について、令和4年度に奥出雲署の実施設計から着手し、令和7年度に3消防署全ての事業を完了したいと考えております。

令和4年度も地域住民の生命・財産を守る防災機関として、一層の職員資質の向上を図り、住民の負託に応える所存であります。

次に、下水道事業についてであります。令和2年度に公営企業法を適用してから丸2年が経過しようとしております。この公営企業法適用に併せて見直した下水道事業経営戦略に従い、引き続き合理的・能率的な施設運営により収益的収支の均衡を図り、将来を見据えた経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に努めてまいります。

さて、本定例会に提出する議案は、条例の一部改正2件、令和3年度補正予算2件及び令和4年度当初予算3件の計7件であります。慎重なるご審議のうえ可決賜りますようお願い申し上げます。令和4年度に臨むにあたっての所信といたします。

議員発議

●雲南広域連合議会会議規則の一部を改正する規則について

女性をはじめとする多様な人材が、議員として活動しやすい環境づくりの要請並びに行政手続等における押印について所要の改正をしました。

「○」…賛成 「●」…反対 「-」…欠席

多賀 法華	児玉 幸久	松林 孝之	上代 和美	矢壁 正弘	内田 裕紀	中林 孝	高橋 英次	景山登美男	藤原 充博	早樋 徹雄	景山 利則	内田 精彦
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年2月18日、令和4年2月雲南広域連合議会定例会を開催しました。
この議会には次の議案を提出し、いずれも原案のとおり可決されました。

議 決 さ れ た 事 項

●雲南広域連合公告式条例及び職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について

雲南広域連合の行政手続等の効率化を図るため、押印の取扱いを見直すことから、関係する条例について所要の改正をしました。

●職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

会計年度任用職員に係る育児休業取得要件の緩和等について、地方公務員法に基づき、国家公務員の措置と権衡を図るため所要の改正をしました。

●令和3年度雲南広域連合一般会計補正予算(第3号)

既定額から歳入歳出 15,862 千円を減額し、総額を 1,398,201 千円としました。

【主な内容】

- ・ 消防庁舎大規模改修事業 △ 7,300 千円
- ・ 災害対応特殊消防ポンプ自動車整備事業 △ 2,500 千円
- ・ 企画事業 △ 3,998 千円
- ・ 人件費 △ 2,110 千円

●令和3年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)

既定額から歳入歳出 21,258 千円を減額し、総額を 8,281,269 千円としました。

【内容】

- ・ 地域支援事業 △ 18,518 千円
- ・ 保険給付費 △ 2,980 千円

●令和4年度雲南広域連合一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 1,463,337 千円(対前年 4.4%増)と決めました。
(詳細は6ページ)

●令和4年度雲南広域連合介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 8,234,309 千円(対前年 0.8%増)と決めました。
(詳細は7ページ)

●令和4年度雲南広域連合下水道事業会計予算

〈業務予定量〉

- 下水汚泥 16,402t (対前年 9.9%減)
- 農業集落排水・浄化槽・し尿他汚泥 26,658t
(対前年 5.5%減)

〈3条予算〉

- 収益的収入 366,431 千円(対前年 0.3%増)
- 収益的支出 370,976 千円(対前年 0.3%増)

〈4条予算〉

- 資本的収入 11,402 千円(対前年 41.3%増)
- 資本的支出 20,323 千円(対前年 0.5%増)

(詳細は7ページ)

採決結果 議案の賛否状況です。なお、佐藤隆司議長は裁決に加わりませんでした。

議 案 名	採 決 結 果
雲南広域連合公告式条例及び職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
令和3年度雲南広域連合一般会計補正予算(第3号)	可 決
令和3年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)	可 決
令和4年度雲南広域連合一般会計予算	可 決
令和4年度雲南広域連合介護保険特別会計予算	可 決
令和4年度雲南広域連合下水道事業会計予算	可 決

雲南広域連合当初予算の概要

一般会計

予算額は 1,463,337 千円です。前年度当初予算と比べて、62,304 千円 (4.4%) の増額となりました。

歳入 主な財源

構成市町負担金 1,365,124 千円があります。前年度対比 61,726 千円の増額 (4.7%増)

歳出 主な使い道

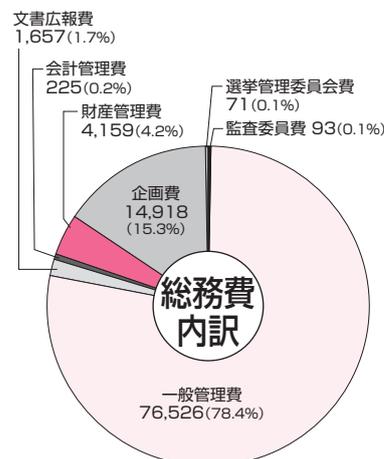
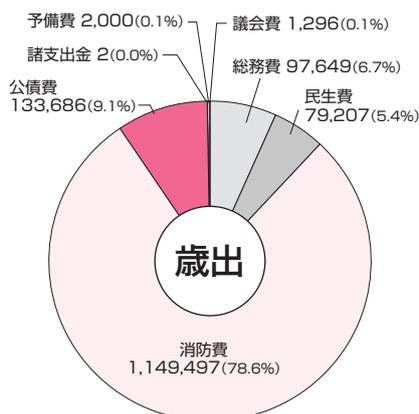
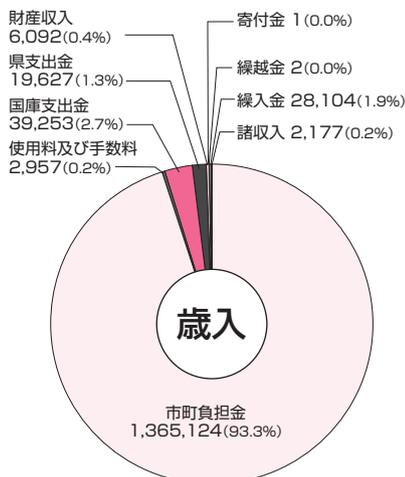
○総務費 (97,649 千円)

- 一般管理費…… 76,526 千円 ・人件費 ・文書ファイルサーバー更新整備事業
・地方公務員法改正に伴う定年引上げ対応事業 ・人事評価制度整備事業ほか
- 文書広報費…… 1,657 千円 ・広報誌印刷費、ホームページのサーバー保守管理費ほか
- 財産管理費…… 4,159 千円 ・庁舎管理費ほか
- 企画費…… 14,918 千円 ・企画事業…事務費ほか
- うんなん観光振興事業
インバウンド事業……地域ガイドの養成及び地域内在住外国人と連携した地域情報の発信
雲南観光 PR 事業……SNS やケーブルテレビ網の活用等による興味関心の喚起
観光情報誌作成・設置事業……観光情報誌等の提供
フォトツーリズム事業……雲南地域とカメラが好きで、SNS 等を活用した地域情報の発信に関心がある人材の発掘及びネットワークづくり
うんなん周遊型観光事業……道の駅・温泉スタンプラリー等による地域内の周遊及び観光消費の促進
プレスツアー事業……メディアや旅行会社向けの現地視察の誘致
- 雲南の地酒で乾杯推進事業……地酒の普及と消費拡大に関する事業

○消防費 (1,149,497 千円)

- 常備消防費……976,646 千円 ・人件費 ・出勤関係需用費等 (燃料・消耗品・資機材等の整備等)
・庁舎、車両関係役務費、委託料等
- 消防施設費……172,851 千円 ・消防庁舎大規模改修事業 ・新型コロナウイルス感染防止対策事業
・救助工作車整備事業 ・高機能消防指令センター整備事業
・警防活動維持管理事業 ・消防庁舎整備事業

令和4年度 一般会計予算 (単位：千円)



介護保険特別会計

予算額は、8,234,309千円で、前年度当初予算と比べて64,841千円(0.8%)の増額となりました。

歳入 主な財源

介護保険事業のうち、介護給付費及び地域支援事業費の50%は、国、県、市町が負担し、残りの50%を介護保険料で賄っています。介護保険料は、40歳以上の方に納めていただき、40歳から64歳の方は27%を負担(医療保険料と併せて納めていただいています。)、65歳以上の方は23%の負担をしていただくこととなっています。総務管理費等の介護給付費及び地域支援事業以外の費用は、概ね市町が負担しています。

歳出 主な使い道

○保険給付費(7,568,855千円)

要介護・要支援認定を受けた方が、介護保険サービスを利用したときに係る費用のうち、本人が負担する額を除いた広域連合(保険者)が負担する額です。

- 居宅サービス費…… 1,861,240千円
- 地域密着型サービス費…… 1,860,000千円
- 施設サービス費…… 2,808,000千円

○地域支援事業費(468,701千円)

要支援者等を対象とした訪問介護、通所介護、介護予防事業、地域包括支援センターの運営、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援コーディネーターの体制整備などの費用です。

○保健福祉事業費(25,156千円)

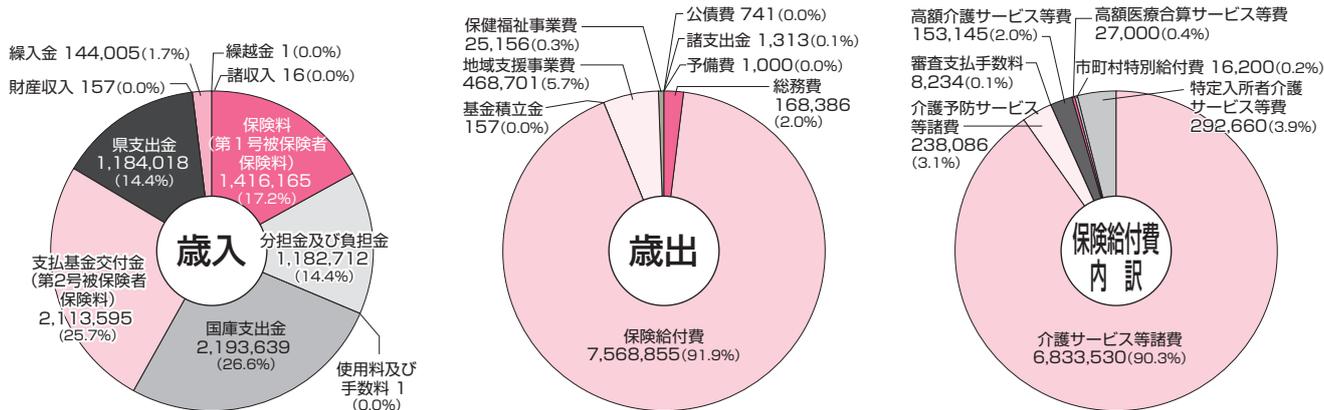
被保険者のみなさん全体を対象にした、地域支援事業以外の介護予防事業、自立支援事業に係る費用です。

○総務費(168,386千円)

介護保険料の賦課、要介護認定審査に係る費用、介護保険電子機器システムに係る費用、介護人材育成にかかる費用等です。

- 人件費
- 電子機器システム費
- 介護保険料の徴収費
- 介護認定審査のための費用

令和4年度 介護保険特別会計予算(単位:千円)



下水道事業会計

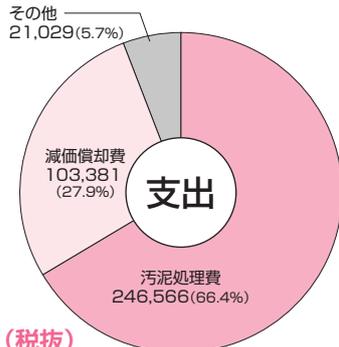
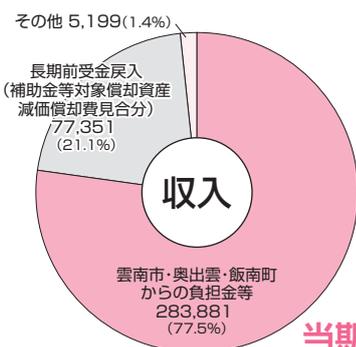
令和2年度から下水道事業へ地方公営企業法の財務規定を適用し、公営企業会計として経理しています。雲南市、奥出雲町、飯南町の下水汚泥等を雲南クリーンセンターで共同処理します。

収益的収支

令和4年度 下水道事業会計予算(単位:千円)

収入 366,431千円

支出 370,976千円



当期純利益(税抜)
△ 4,545千円

資本的収支

収入 11,402千円

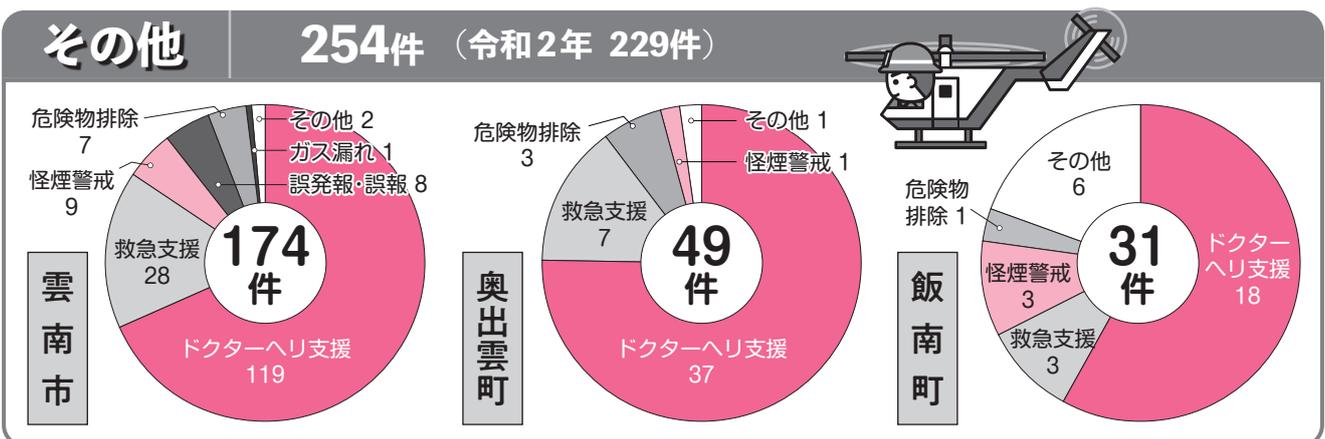
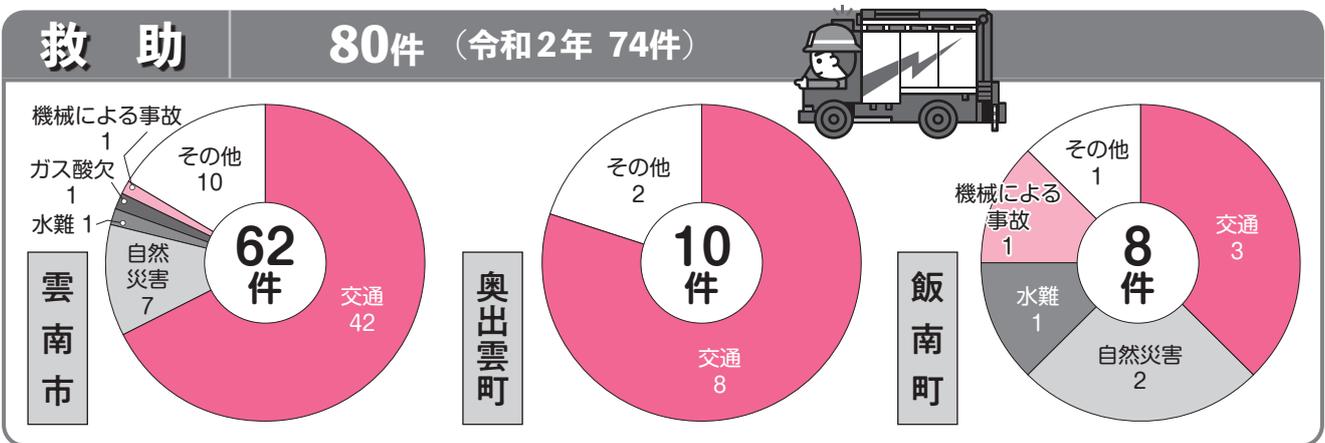
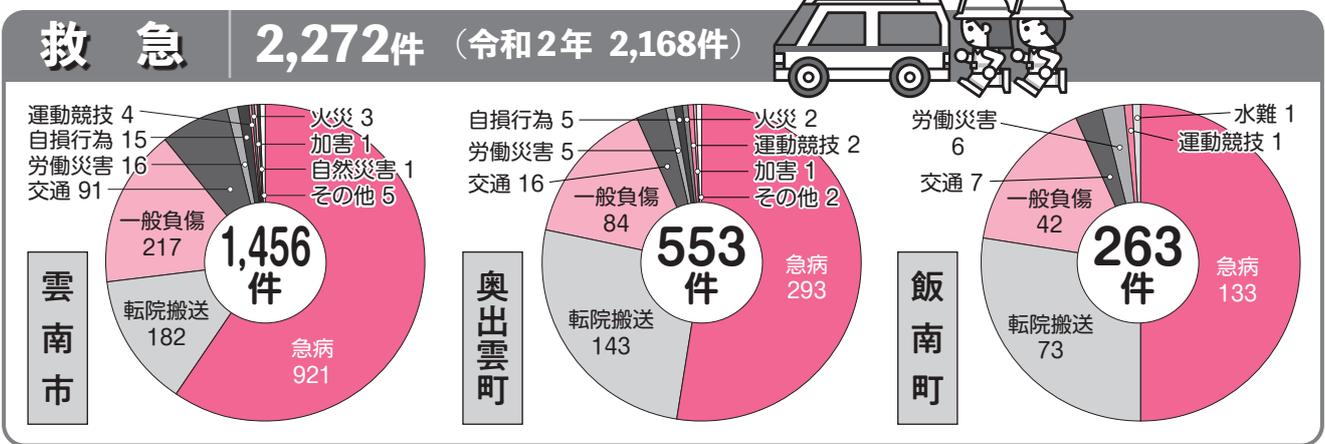
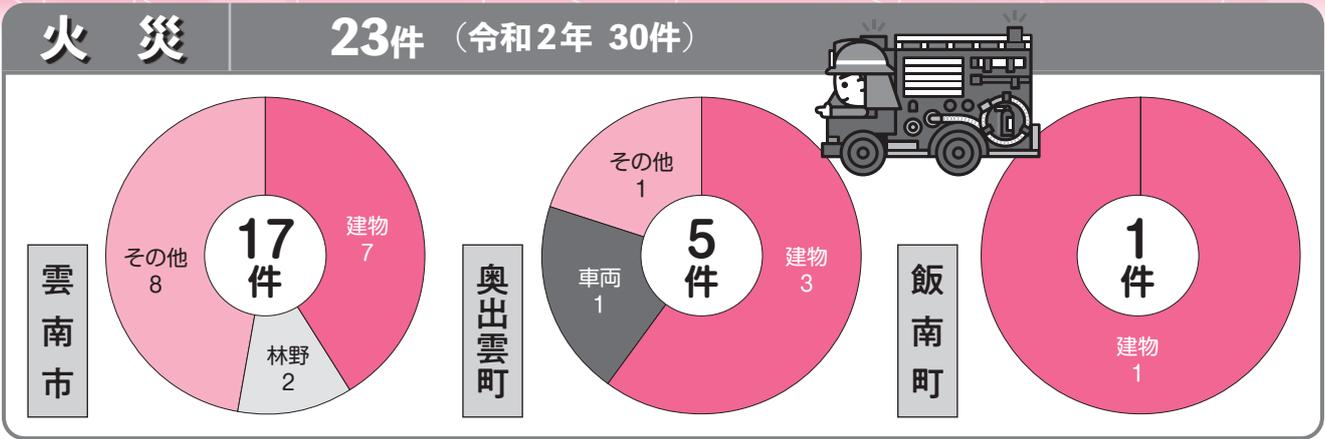
支出 20,323千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8,921千円は、過年度分損益勘定留保資金で補われます。

出 動 件 数

令和3年の火災については、火の取扱いの不注意からの火災が多く発生しました。救急については、平成22年以降2,000件を超えており、一日の平均出場件数は約6件となっています。

令和3年1月1日~12月31日



令和3年度 島根県消防表彰受賞

令和3年10月26日、日頃の積極的な防災活動が認められ、3団体が島根県知事表彰を受賞されました。



幼年消防クラブの部



馬木幼稚園幼年消防クラブ (仁多郡奥出雲町)

少年消防クラブの部



吉田小学校少年消防クラブ (雲南市吉田町)

防火・防災クラブの部



17区自治会防火クラブ (雲南市木次町)

飯南消防署に消防ポンプ自動車を配備しました



消火栓や防火水槽、川などからポンプにより水を吸い揚げて消火活動を行います。

春先は空気が乾燥し、強い風の吹く日が多いため、たき火などによる火災が起こりやすい季節です。

たき火・草焼きなどによる火災にご注意ください!

介護保険情報コーナー



雲南地区の介護人材確保に向けての 推進会議を開催しました

介護の日である令和3年11月11日（木）介護人材に関わる関係団体・機関が一堂に会して介護事業所における介護人材の現状に対する共通理解を持つとともに、各主体で実施されている介護人材の養成・確保・定着のための取り組みの連携と協力体制を構築する場として推進会議を開催しました。

当日は、雲南広域連合と地域連携協定を締結している広島文教大学の人間科学部 小川教授をはじめ、高等学校、介護専門職等を養成する教育機関、介護人材確保に関する支援団体、介護サービス事業者を中心に25団体から参加をいただきました。

※「介護の日」とは

「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として、「11月11日」に決められています。



会議当日の協議資料として、事前に雲南地区の介護事業所を対象にアンケート調査を実施し、実態調査報告書として活用しました。アンケートでは、介護に求められる人材像から、先を見据えた介護保険事業計画の策定、雲南地域での人材確保のための仕組みづくり等、多岐にわたる意見・要望が寄せられました。会議当日の意見交換の場では若年世代の新規参入、外国人介護人材の確保、介護職の処遇改善等について次のとおり活発なご意見・ご提言をいただきました。

若者世代の新規参入

あらゆる業界・分野での人材不足が懸念される中、高齢者を支える対人援助のスペシャリストという介護職の専門性が社会的に評価をされる仕組みを社会や地域全体で共有することが重要であり、将来的に地元の介護事業所への就労や定着につながるような「地域循環型の介護人材確保」の仕組みづくりを構築することが求められています。

外国人介護人材の確保

外国人介護人材の確保は、平成31年4月に就労目的で即戦力となる在留資格「特定技能」が創設され、外国人を受け入れるための適正な労働条件や生活面の環境整備を進めることが重要となっています。雲南地域でも外国人労働者の採用を前向きに考えている介護事業所が多くなっていることから、今後は制度の啓発を重点的に進めることが大切です。

介護職の処遇改善

推進会議では、「介護は大切な仕事であり、それを担う介護事業所も地域の社会資源として必要とされている」といった介護の重要性や「介護について一面的なマイナスイメージが流布されることがありますが、実際の現場においてはとても仕事のやりがいを感じています」といった声が聞かれました。

その一方で、賃金水準が依然として他産業平均と格差があり、介護職員の更なる処遇改善が求められています。また、同時に介護職員以外の処遇改善についても遅れが目立つようになってきているため、処遇改善策の対象拡大の要望をより一層国へ働きかける必要があります。



今後は、推進会議での議論を踏まえ、介護人材確保計画の策定に着手し、また、関係機関とより一層連携を深めながら、可能なものから事業の創出を図り、介護人材の確保に努めていきます。

令和4年度 介護保険料の 仮徴収額をお知らせします

雲南広域連合では、介護保険料は年間保険料額を年6回に分け、偶数月（年金が支給される月）に納めていただきます。

ただし、4月、6月、8月に納めていただく保険料は所得や住民税の課税状況が確定していませんので、仮に決定した（仮徴収）保険料となります。金額については、4月に「介護保険料仮徴収開始通知書」を65歳以上の方にお送りしますので、ご確認ください。



地域づくり研修を 開催しました

やさしい日本語で話してみよう



昨年11月19日、雲南地域の自治体職員及び消防職員を対象に、「やさしい日本語講座」を開催しました。

講師には、雲南市を拠点に外国人の生活支援を行う（一社）ダイバーシティうんなん（Diversity Unnan）の代表理事 芝由紀子さんをお招きしました。当日は、約20名が参加し、個人やグループで練習課題にも挑戦しながら受講しました。参加者からは「日本語なのに、言い換えようと思うと言葉が浮かばない」、「慣れないので、頭をひねってしまふ。」といった感想が聞かれました。

● 雲南地域には約350人の外国人が住んでいる。日本人と同じように住民として暮らし、納税していれば、日本人と同じように住民サービスを受ける権利がある。

● 雲南地域に在住している外国人は、ベトナム、フィリピン、中国などの国籍が多く、英語を母国語としない人が多い。

● やさしい日本語は、専門用語や敬語、慣用句を使わない「外国人にも伝わりやすい」簡単な日本語のこと。必ず伝えなければならぬことを必要最低限にしぼりこむことが大事。

● 大事なことは、情報の受け取り手に正しく伝わること。絶対的なルールはない。やさしい日本語を使い、相手への気遣いや配慮も必要。

● やさしい日本語を使い慣れておくことで、日常生活だけでなく災害時でも非常に役に立つ。

● 昨今、自動翻訳機が普及しているが、正しい翻訳のためにもやさしい日本語が有効。



あなたも
チャレンジ!

やさしい日本語に言い換えてみましょう。

- 1 無料です。
- 2 避難所
- 3 個人情報
- 4 ご記入をお願いします。
- 5 身分証明書をお持ちですか。



- 【回答例】
- ① お金はいりません。ただです。
 - ② 逃げるところ。みんなで逃げて集まる場所。
 - ③ 名前、年または年齢、住んでいるところ
 - ④ 書いてください。
 - ⑤ 免許証やパスポートを持っていますか。
(実物を見せる。)

まだまだ活かせる！
観光資源



1月17日、(株)地域ソリューションパートナーズ代表取締役の前田^{まえた}浩輝さんを講師に、「まだまだ活かせる！地域資源を活用した稼ぐ観光商品とは。」雲南地域の観光の可能性」と題し、オンラインセミナーを開催しました。当日は、雲南地域の観光関連事業者や観光協会職員、自治体関係者など約30名が参加し、観光分野からまちづくりを進めるヒントについて学びを深めました。

前田さんは、前職の(株)リクルートじゃらんリサーチセンター在職時から中四国地方で各地の人たちと共に観光資源を発掘し、自ら商品開発に関わってきました。その実例の一つとして、現在開発中の、JR木次線を活用したガイド付き自転車ツアーの企画について紹介。「観光客に一番魅力的なのは、地域の皆さんが楽しんでいること。それを観光客が見に来る。持続的な取り組みにするためにも、地元の人々のアイデアと外から訪れる人の視点を組み合わせた観光商品づくりが重要」と話しました。

参加者からは、「行政と、住民、民間事業者がそれぞれ具体的に何を担えばいいのか」、「雲南といえば出雲神楽」のイメージをつくるためには、どのように進めていくのがいいか」など積極的に質問が出され、前田さんの話に熱心に聞き入っていました。



▲ JR木次線沿線の自転車ツアー試走の様子

抽選で100名様に
木次線限定オリジナルグッズ
プレゼント！！

抽選で
スタンプを集めて
木次線沿線特産品
をプレゼント！！

木次線に乗って 魅力発見 スタンプラリー

※写真は
イメージです

期間 2022.3.25(金) ~ 4.24(日)

木次線利活用推進協議会では、JR木次線に乗って参加できるデジタルスタンプラリーを実施します。専用アプリで車両内または各駅周辺のQRコードを読み取るだけで応募可能。押印スタンプの数に応じて、木次線沿線の特産品が当たります！詳しくは木次線利活用推進協議会（事務局：雲南市役所うんなん暮らし推進課 電話 0854-40-1014）までお尋ねください。同協議会ホームページ <http://kisuki-line.jp/>
※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を使用します。また、専用アプリ「furari」をダウンロードする必要があります。

うなん観光ネットワーク協議会より

松江、出雲方面からの

観光客増をめざして

うなん観光ネットワーク協議会では、松江や出雲などの近隣地域から雲南地域を訪れる人が増えるよう、次のような観光PRに取り組んでいます。

一昨年春から続くコロナ禍により、遠方への観光は激減した一方、近場への観光が増える傾向にあります。また、島根県観

光動態調査によると、島根県を訪れる旅行者の大半が松江や出雲の観光地を訪問し、松江・出雲に宿泊する傾向があることが分かっています。このような傾向を踏まえ、松江や出雲からも一歩先の雲南地域を訪れる人が増えるよう、今後もさまざまな取り組みを進めていきます。

【モリモリ奥出雲】

イオン松江店1階にある、雲南地域の産直野菜等を販売する店舗です。この一角に、だれでも自由に持ち帰れるよう観光パンフレット等を配置しています。特に、「温泉ガイドブック」やモデルコースを紹介した冊子「Kirari Tabi」は人気が高く、配置してもすぐになくなるほど好評です。

【一畑電鉄主要駅】

出雲大社や松江しんじ湖温泉へ訪問する人が多く利用する一畑電鉄の駅のうち、出雲大社前駅、電鉄出雲市駅、雲州平田駅、松江しんじ湖温泉駅の4つの駅の電子看板で、PR用動画を放映しました。期間は、秋の行楽シーズンから初詣の時期を含む、昨年10月〜今年1月までの3か月間で、今までは異なる層へ発信することができました。

好評につき、令和4年度も継続放送

「美肌県島根へ行こう！ in 奥出雲エリア」

昨年4月からケーブルテレビで放送を開始した「美肌県島根へ行こう！ in 奥出雲エリア」。雲南市・飯南町事務組合及び奥出雲町情報通信協会とうなん観光ネットワーク協議会で共同制作をして放送しています。

番組は、島根県内の全てのケーブルテレビ局に加えて全国各地でも放送され、のべ五十局を超える放送局（加盟世帯二百万世帯超）で放送されています。テレビでの放送後には動画投稿サイト「YouTube」でも見ることができ、雲南地域の出身者

の方々をはじめ、ケーブルテレビに加入していない人や放送圏外の人にもお楽しみいただいています。ご覧になった方々から感想が多く寄せられたことから、令和4年度も継続して放送することになりました。次回は令和4年4月の放送です。ぜひご覧いただき、感想をお寄せください。

また、番組で紹介する雲南地域らしい情報があれば、ぜひ事務局（雲南広域連合企画課 電話0854-4717341）までお知らせください。

美肌県島根へ行こう！ in 奥出雲エリア

YouTubeチャンネル「うなんエリア観光情報」からご覧いただけます。



雲南市の桜まつりで

人力車が走行します

4月1日(金) ～ 4月3日(日) 9時～16時
※3日のみ15時まで

20分4,000円(一組2名まで)
※1名でも同一料金、未就学児は1名まで同乗可。

場所 JR木次駅前(雲南市木次町里方26-1)
(問い合わせ)雲南市観光協会
電話 0854-4219770 ※予約可)



予約用
QRコード



人力車走行ルート (木次駅前発着)



※走行日当日の交通状況によって走行ルートを変更する可能性があります。

2022雲南市桜まつり メインイベント中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年4月上旬に開催する「雲南市桜まつり」メインイベント(木次駅前ステージイベント、花火大会)を中止します。例年どおりライトアップやぼんぼり、臨時駐車場、仮設トイレを設置する予定です。また、お越しの際は衛生対策の徹底をよろしくお願いします。

(問い合わせ) 雲南市観光振興課
0854-4011054

公演情報

雲南市加茂文化ホールラメール

アマチュアミュージックフェスティバル
クラウドライブしまね
くものねまつり

雲の音祭り 2022

3.27 SUN ラメールホール

MC 大坂 優
Special Stage 矢田 太朗

Support Musicians
澤田 利明 (Guitar) 空海 一仁 (Bass) 坂口 雄樹 (Drum)

KIDS & JUNIOR わくわくステージ
わくわくドラム教室 (指導: 藤井 孝一) 協力: しまね児童福祉センター・こくろ館

KUMONONE プラス・アンサンブル
協力: カムール・マスターズ・プロジェクト AT&T 岡山ミュージックスクール・出張

雲の音ライブ
12:30 OPEN 13:00 START
大ホール

出演 谷の人 / DRIVE AWAY / アウトクラウド / watamu0103 / ペパーミント★倶楽部バンド / 菅田 茂

入場料 一般1,000円(当日1,500円) 高校生以下500円(当日1,000円) 未就学児無料(要整理券)
※整理券: 申込 02-9233-2222 申込受付時間: 3月25日(木)18時迄
※主催: 雲南市加茂文化ホール 協賛: 雲南市観光協会 協賛: 雲南市加茂文化ホール 協賛: 雲南市加茂文化ホール 協賛: 雲南市加茂文化ホール

最新情報&チケットのお申込みはこちらどうぞ
<http://www.lamer-unnan.com/event/6615>

おうちでうんなん
フォトコンテスト2021
| 受 | 賞 | 作 | 品 |



「**うんなんエリア×うんなんフォト展**」
を開催しました

雲南市「ワイナリー奥出雲葡萄園」の地下ギャラリーにて2月3日から2月28日までの間、写真展を開催しました。今年度開催した「#おうちでうんなんフォトコンテスト」の受賞作品を中心に、雲南地域の観光パンフレットなども展示しました。受賞作品は、「うんなんエリア観光情報」のホームページでも紹介しています。